

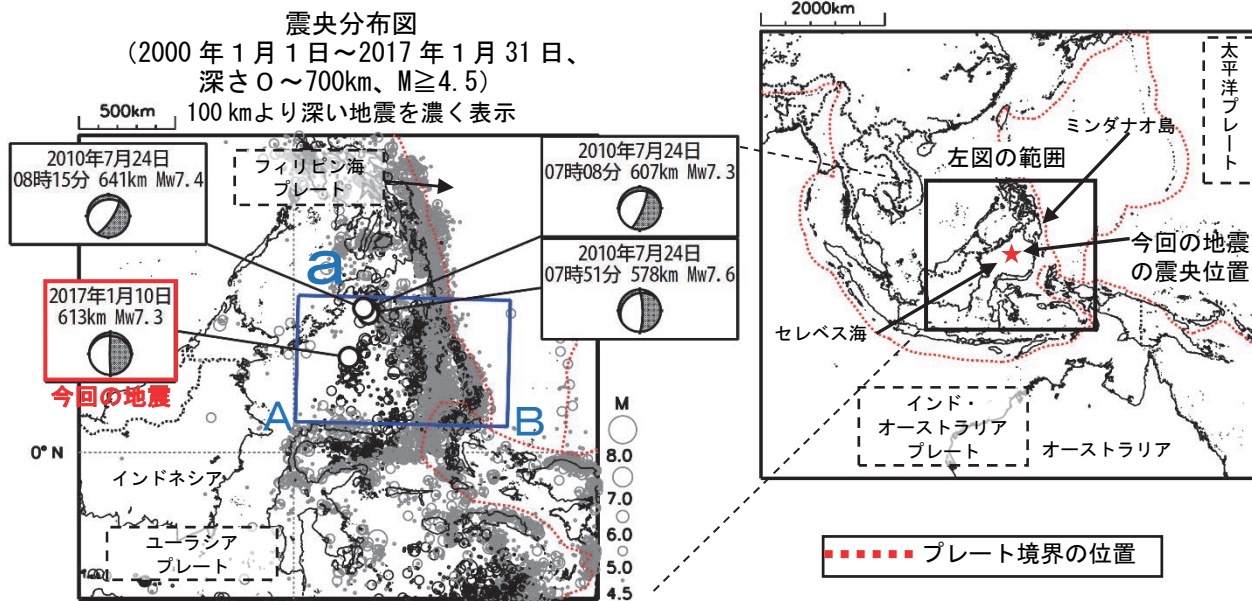
1 月 10 日 セレベス海の地震

2017 年 1 月 10 日 15 時 13 分（日本時間、以下同じ）にセレベス海の深さ 613km で Mw7.3 の地震が発生した。今回の地震の震央周辺では、ユーラシアプレートの下にモルッカ海プレートが位置している。今回の地震は、ユーラシアプレートに沈み込むモルッカ海プレート内部で発生した。今回の地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、モルッカ海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型であった。

気象庁は、今回の地震について、10 日 15 時 39 分に遠地地震に関する情報（この地震による津波の心配なし）を発表した。

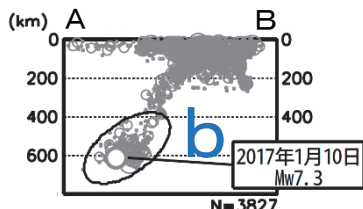
2000 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の北北東に位置するミンダナオ島付近で、今回の地震と同じく深い場所で、2010 年 7 月 24 日に M7.3、M7.6、M7.4 の地震が連続して発生している。

1976 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、浅い地震で死者 100 人を超える被害地震が時々発生しており、1976 年 8 月 17 日の地震では、死者 8,000 人等の被害が生じている。

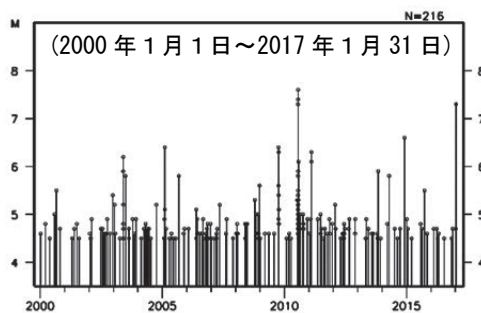


※モルッカ海プレートは地表に現れていないマイクロプレートのため、震央分布図上には表示されない

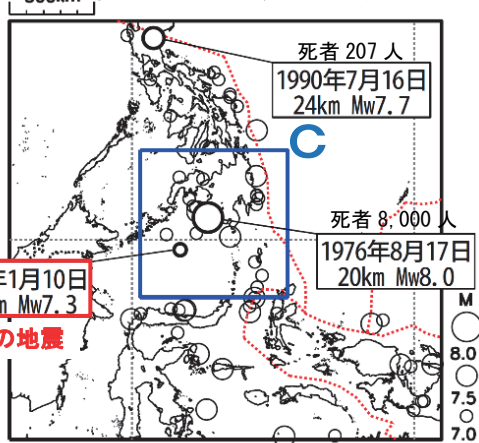
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図

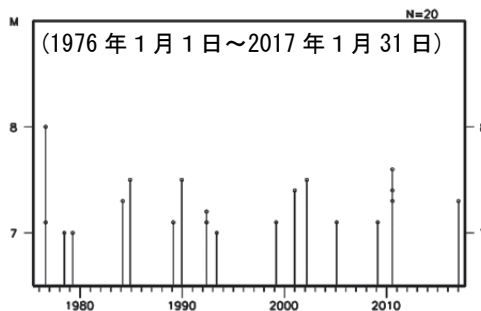


震央分布図 (1976年1月1日～2017年1月31日)



※死者 100 人以上の地震に吹き出しをつけた

領域 c 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震と 2010 年 7 月 24 日の地震の発震機構と Mw は気象庁による。震源要素とその他の地震の Mw は米国地質調査所 (USGS) による (上図の震央分布図)。1976 年～2012 年の震源要素は国際地震センター (ISC) による。1976 年～2008 年の地震の Mw は GlobalCMT による。2012 年以降の震源要素は USGS による (下図の震央分布図)。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.